

# 施策評価シート

施策コード	2102	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
施策名	生涯学習の推進	所属名 教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる

## 2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○社会の成熟化により、「心の豊かさやゆとりある生活」が重視され、「いつでも どこでも だれでも だれとでも 何でも いつまでも」学習できる環境づくりが求められています。</p> <p>○学習で得た知識・技能などの成果を活かした活動や交流は、地域への愛着や生きがいのある充実した暮らしにつながります。</p> <p>○鳥取市生涯学習センターで開催されている尚徳大学、鳥取市民大学をはじめ各地区公民館や市立図書館などにおいて生涯学習活動が行われています。</p> <p>○生涯学習活動の充実を図るため、放送大学や鳥取大学、鳥取環境大学等と連携し、社会人を対象とした各種講座の充実と受講の促進に取り組むとともに、鳥取県立図書館をはじめ県内の各図書館と連携し、読書環境の充実に取り組んでいます。</p> <p>○今後も多様化、高度化する市民の生涯学習ニーズに対応した学習機会の提供、学習成果を活かした地域活動と市民交流の促進が必要です。</p>
めざす方向	市民が自発的に、生涯にわたって自由に学習機会を選択して学び、学習の成果を活かすことで、自己実現のできる社会をめざします。
達成するための対策・手段	<p>①地域で活躍する人材の育成・支援</p> <p>②生涯学習・成果を活かす機会の充実</p> <p>③生涯学習活動拠点施設の充実</p> <p>④読書活動の推進</p>

## 3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

指標名		単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果指標	1 ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数	回	目標	110	125	140	140	140
			実績	153	113	120	119	128
			目標達成率	139%	90%	86%	85%	91%
			(指標の説明) 生涯学習事業「子どもと大人のふれあい事業」における、ボランティア活動や地域の年中行事実施回数。平成25年度までに全61館で現在より1回以上の増加をめざす。(基準値は平成21年度)					
	2 尚徳大学及び鳥取市民大学の延参加者数	人	目標	7050	7400	7750	8100	8500
			実績	6852	6938	7491	7529	7776
			目標達成率	97%	94%	97%	93%	91%
			(指標の説明) 毎年度、前年度比5%の参加者の増加をめざす。(基準値は平成21年度)					
	3 市民1人あたりの年間図書貸出冊数	冊	目標	4.5	4.6	4.7	4.8	5.1
			実績	4.617	4.484	4.667	4.623	4.651
目標達成率			103%	97%	99%	96%	91%	
(指標の説明) 年間総図書貸出数/人口。平成27年度の総図書貸出数1,000,000冊をめざす。(基準値は平成21年度)								

## 4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	405,523	379,037	397,130	392,435	373,703

## 5. 施策の成果【CHECK】

<p>施策の成果</p> <p>(成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)</p>	<p>これまでの様々な生涯学習に関する取り組みにより、一定の成果が上がり、多くの地域で生涯学習活動が活発に繰り広げられている。このような中においても、価値観の多様化、少子高齢化等が進む現代社会においては、多種多様な地域課題や社会の変化に対応した継続的な学習機会が必要であり、生涯学習の担い手が重要なものとなる。そのため、今後も引き続き社会変化等に即した形で生涯学習をより一層推進して必要がある。</p>
--	---

## 6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
<p>担当部長評価コメント</p> <p>(部としての施策の方向性)</p> <p>※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載</p>	<p>これまで推進してきた生涯学習施策により、一定の成果が上がっているが、社会の変化により生じる多種多様な現代的課題・地域課題に対応するため、地域住民や各機関・諸団体等との連携・協働を図り、全体的により一層生涯学習を推進していく必要があると考える。</p>

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000839	重点事業区分	リープロ1	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	地区公民館事業		所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	社会教育法
施策	2102	生涯学習の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数		153回	140回	運営方法	外部委託
	尚徳大学及び鳥取市民大学の延参加者数		6,852人	8,500人	会計区分	一般会計
	市民1人あたりの年間図書貸出冊数		4冊	5冊		
予算	予算事業名	地区公民館事業費(生涯学習課)		予算事業コード	01-09-04-06-07-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市に住む子ども
意図 (どのような状態にするために)	ふるさとを大切に、強い志を持つ子どもに育てる。
手段 (どうするのか)	各地区公民館が取り組む生涯学習事業を通じ、子どもたちのボランティア活動・体験活動の機会を充実、支援することにより、地域で子どもたちを育てる環境整備を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 公民館生涯学習事業「子どもと大人のふれあい事業」のなかで、ボランティア活動や地域の年中行事の実施の促進	平成24年度 公民館生涯学習事業「子どもと大人のふれあい事業」のなかで、ボランティア活動や地域の年中行事の実施の促進	平成25年度 公民館生涯学習事業「子どもと大人のふれあい事業」のなかで、ボランティア活動や地域の年中行事の実施の促進	平成26年度 公民館生涯学習委託事業のなかで、子どものボランティア活動や子どもたちが地域の年中行事を体験する活動を促進	平成27年度 公民館生涯学習委託事業のなかで、子どものボランティア活動や子どもたちが地域の年中行事を体験する活動を促進	
	年度別実績	子どもと大人のふれあい事業 鳥取地域 625件 31,748人 新市域 343件 13,792人	子どもと大人のふれあい事業 鳥取地域 585件 26,530人 新市域 352件 13,874人	子どもと大人のふれあい事業 鳥取地域 539件 25,706人 新市域 340件 15,340人	子どもと大人のふれあい事業 鳥取地域 520件 26,664人 新市域 301件 12,022人	子どもと大人のふれあい事業 鳥取地域 510件 25,650人 新市域 309件 12,804人	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	22,630	22,621	23,111	22,618	22,624	
	直接経費 A	21,131	21,136	21,654	21,114	21,153	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	21,131	21,136	21,654	21,114	21,153
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数	回	目標	110	125	140	170	200
	実績	968	937	879	821	820			
(指標の説明) H25年度目標値に、全地区公民館で1回以上の増加をめざし、実施した回数									
2	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362
	【9次総の施策体系】2102
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P256(教063)
	【事業の概要】 委託先：鳥取市公民館連合会 ・地区公民館事業62館(内分館1館)の事業費 ・4事業に分類わけをして事業を実施している。事業費の配分は基本的に各地区公民館の裁量により設定できる。
	【事業の成果】
	1) 子どもと大人のふれあい事業
	平成25年度 平成26年度 平成27年度 事業開催数(延) 879件 821件 819件 参加人数(延) 41,046人 38,686人 38,454人
	(2) 特色ある公民館活動事業
	平成25年度 平成26年度 平成27年度 事業開催数(延) 496件 1,583件 470件 参加人数(延) 22,606人 20,256人 22,803人
	(3) 地域の仲間作り事業
平成25年度 平成26年度 平成27年度 事業開催数(延) 689件 689件 706件 参加人数 17,390人 17,583人 19,447人	
(4) 人権啓発推進事業	
平成25年度 平成26年度 平成27年度 事業開催数(延) 194件 197件 201件 参加人数(延) 7,368人 8,015人 6,230人	
【今後の課題・方向性】 今後、過疎化・人口減少がさらに進む社会においては、人とのつながりがより重要なものとなるため、各地区公民館がそれぞれの事業の目的に合わせて、地域の人が集い、学び合い、交流し合う機会を充実させる。	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1 ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数	880%	750%	628%	483%	410%
	2					
	3					

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	各事業に明確な目標が設定されている。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	地方創生・地域活性化のためには、地域の実情をよく知る公民館が行う事業は有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	各地区公民館・関係各課との連携を図ることにより、より効率的な事業の実施ができると考えられる。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	各事業の実施に当たり、対象が適したものとなっている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後も、各地区公民館で積極的に生涯学習事業を計画し取り組んでもらうことで、地域の生涯学習の拠点、地域活性化の拠点として充実を図りたい。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000844	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	公民館祭開催事業		所属名	企画推進部地域振興局 協働推進課

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり		事業期間	昭和57年度 ~ 全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2102	生涯学習の推進				
目標の 目	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数		153回	140回	運営方法	その他
	高徳大学及び鳥取市民大学の延参加者数		6,852人	8,500人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	公民館祭開催費(協働推進課)		予算事業コード	01-09-04-06-19-01	
		市民1人あたりの年間図書貸出冊数		4冊	5冊	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態 にするために)	市内61地区公民館及び1分館を拠点として活動している市民が、丹精込めて制作した作品の数々や練習を重ねた様々な分野の芸能などについて、1年間の成果を発表する場として開催し、公民館活動の活性化と生き生きとした地域づくりの推進を図る。
手段 (どうするのか)	鳥取市公民館連合会が主体となって事業の企画実施を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>■作品展示会(61地区公民館で1年間に創作した作品を展示する。)</li> <li>■芸能発表会(61地区公民館で学習した伝承芸能、踊り等学習成果の発表を行う。)</li> </ul>	同左	同左	<ul style="list-style-type: none"> <li>■作品展示会(61地区公民館で1年間に創作した作品を展示する。)</li> <li>■芸能発表会(61地区公民館で学習した伝承芸能、踊り等学習成果の発表を行う。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■作品展示会(61地区公民館で1年間に創作した作品を展示する。)</li> <li>■芸能発表会(61地区公民館で学習した伝承芸能、踊り等学習成果の発表を行う。)</li> </ul>	
	年度別実績	参加者 1627人	参加者 1388人	参加者 1456人	参加者1289人	参加者数1323人	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	575	575	575	575	575	
	直接経費 A	575	575	575	575	575	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	575	575	575	575	575
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	開催期間中の入場者	人	目標	1586	1632	1400	1400	1400
				実績	1627	1388	1456	1289	1323
	(指標の説明) 開催期間中の入場者数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地区公民館係 0857-20-3172</p> <p>【9次総の施策体系】 2102</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 市内61地区公民館を拠点として活動する市民が、1年間の成果を発表する場として毎年「鳥取市公民館まつり」を実施。平成27年度で34回目を迎える。 地区公民館で活動している市民が丹精込めて制作した作品の数々や、練習を重ねた様々な分野の芸能を来訪者に観賞してもらうことで、公民館活動について理解を深めてもらうとともに、出品者の創作意欲、発表者の練習意欲をいっそう向上させ、公民館活動の活性化と生き生きとした地域づくりの推進を図る。</p> <p>【事業の成果】 1. 委託先 鳥取市公民館まつり実行委員会(事務局:鳥取市公民館連合会) 2. 事業内容 ・作品展示会(61地区公民館で1年間に創作した作品を展示する。) ・芸能発表会(61地区公民館で学習した伝承芸能、踊り等学習成果の発表を行う。)</p> <p>実績 〔作品展示会〕平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度 参加者数 1627人 1388人 1456人 1289人 1323人 出品点数 1955点 2418点 2369点 2141点 1931点 〔芸能発表会〕平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度 出演者数 229人 209人 229人 145人 137人 入場者数 750人 603人 646人 536人 351人</p> <p>【今後の課題・方向性】 公民館を拠点として活動する市民が、1年間の成果を発表する場として、毎年度実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	開催期間中の入場者	103%	85%	104%	92%	95%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	地区公民館活動の成果について市民に対し発表する場を年1回設定するものであり、今後の公民館活動の活性化や発展を図ることができる。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	幅広く市民への公民館活動に対する周知と理解を得ることができるとともに、他地区の活動を知ることにより自らの公民館活動の参考にし、今後の発展に期待できる。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	地区公民館職員で構成する鳥取市公民館連合会に委託して実施しており、職員自ら創意工夫しながら企画運営実施することで、職員の公民館活動に対する認識や資質の向上が図られる。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市民参加は、無料で自由でできるものであり、公平に行われている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	地区公民館を拠点として活動する市民が、1年間の成果を発表する場として、毎年度実施する。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000820	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	市民大学等開催事業(高齢者生きがい促進)		所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	
	施策	2102	生涯学習の推進			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数		153回	140回	運営方法	直営
	尚徳大学及び鳥取市民大学の延参加者数		6,852人	8,500人	会計区分	一般会計
	市民1人あたりの年間図書貸出冊数		4冊	5冊		
予算	予算事業名	高齢者生きがい促進総合事業費			予算事業コード	01-09-04-01-15-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態にするために)	市民が学習しようと思ったとき「いつでも、どこでも、だれでも、だれとでも、何でも、いつまでも」学習できるような環境をつくるとともに、学習成果を地域に還元できるようにする。
手段 (どうするのか)	社会の動向や生涯各期の学習ニーズに対応した学習機会を充実させる。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業	平成24年度 尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業	平成25年度 尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業	平成26年度 尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業	平成27年度 尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業	
	年度別実績	尚徳大学 講座開催回数102回 延参加人数6,294人 高齢者人材活用事業 事業回数 3回 延参加者数80人	尚徳大学 講座開催回数114回 延参加人数6,186人 高齢者人材活用事業 事業回数 2回 延参加者数 165人	尚徳大学 講座開催回数114回 延参加人数6,765人 高齢者人材活用事業 事業回数 4回 延参加者数 218人	尚徳大学 講座開催回数126回 延参加人数6,692人 高齢者人材活用事業 事業回数 3回 延参加者数 90人	尚徳大学 講座開催回数126回 延参加人数6,819人 高齢者人材活用事業 事業回数 10回 延参加者数 422人	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	5,920	6,014	5,941	6,369	6,227	
	直接経費 A	1,422	1,558	1,570	1,856	1,813	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	520	532	590	851	878
		一般財源	902	1,026	980	1,005	935
人件費 B	4,498	4,456	4,371	4,513	4,414		
職員数の内訳	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		尚徳大学受講者の満足度	%	目標	0	0	0	85	90	
			実績	79	79	76	73	70.2		
		(指標の説明) 受講者アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした受講者の割合								
	2		目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)								
3		目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0			
	(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362</p> <p>【9次総の施策体系】2102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P253(教057)</p> <p>【事業の概要】 高齢者の総合的な学習活動の場として、合同学習(共通)と8つの専門コースからなる尚徳大学を開設する。また、優れた知識、技能を有する高齢者を募り、講師あるいは助言者として、各地域で開催される講演会等に参加・派遣するため、高齢者人材活用事業を実施する。</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="1"> <tr> <td>1. 尚徳大学</td> <td>平成25年度</td> <td>平成26年度</td> <td>平成27年度</td> </tr> <tr> <td>・延べ出席者数</td> <td>6,765人</td> <td>6,692人</td> <td>6,819人</td> </tr> <tr> <td>・講座開催回数</td> <td>126回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 高齢者人材活用事業</td> <td>平成25年度</td> <td>平成26年度</td> <td>平成27年度</td> </tr> <tr> <td>・講演会等延べ参加者数</td> <td>218人</td> <td>90人</td> <td>422人</td> </tr> <tr> <td>・登録者数</td> <td>50人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 尚徳大学は、少子高齢化の進行により今後も役割が増していくと考えられ、学習ニーズや社会情勢に対応した高齢者の学習活動の場として、より効果的な形態や内容の見直しを図りながら今後も行っていく。高齢者人材活用事業は、新たな人材の発掘等の必要性があり、広報の強化により更なる事業の活性化を図る。</p> <p>※その他財源の諸収入は、受講料。</p>	1. 尚徳大学	平成25年度	平成26年度	平成27年度	・延べ出席者数	6,765人	6,692人	6,819人	・講座開催回数	126回			2. 高齢者人材活用事業	平成25年度	平成26年度	平成27年度	・講演会等延べ参加者数	218人	90人	422人	・登録者数	50人		
	1. 尚徳大学	平成25年度	平成26年度	平成27年度																					
・延べ出席者数	6,765人	6,692人	6,819人																						
・講座開催回数	126回																								
2. 高齢者人材活用事業	平成25年度	平成26年度	平成27年度																						
・講演会等延べ参加者数	218人	90人	422人																						
・登録者数	50人																								

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	尚徳大学受講者の満足度				86%	78%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	現代のような超高齢化社会においては、高齢者を対象とした学習機会と生きがいを提供する事業は必要であることから妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	高齢者を対象とした生涯学習事業として、唯一の事業であり、多数の受講応募と高い参加率からも事業は有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	事業実施にあたっては、受講生との協同による運営を行い、効率化を図っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	事業の経費の一部として、受講者から受講料を徴収しており、受益者負担からも公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	少子高齢化の進行から、社会における高齢者が担う役割が重要となっていくことに鑑み、文化的に豊かで地域活動等の社会参加に積極的な人づくりを視野に入れた学習機会を提供していく。また、事業運営手法の見直しを行うなど効果的な運営を図っていく。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000821	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	市民大学等開催事業(市民大学)		所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	2102	生涯学習の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数		153回	140回	運営方法	直営
	尚徳大学及び鳥取市民大学の延参加者数		6,852人	8,500人	会計区分	一般会計
	市民1人あたりの年間図書貸出冊数		4冊	5冊		
予算	予算事業名	市民大学開設費		予算事業コード	01-09-04-01-16-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態にするために)	市民が学習しようと思ったとき「いつでも、どこでも、だれでも、だれとでも、何でも、いつまでも」学習できるような環境をつくるとともに、学習成果を地域に還元できるようにする。
手段 (どうするのか)	社会の動向や生涯各期の学習ニーズに対応した学習機会を充実させる。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 市民大学の開催	平成24年度 市民大学の開催	平成25年度 市民大学の開催	平成26年度 市民大学の開催	平成27年度 市民大学の開催	
	年度別実績	市民大学 講座開催数28回 延参加者数558人	市民大学 講座開催数30回 延参加者数752人	市民大学 講座開催数30回 延参加者数726人	市民大学 講座開催数30回 延参加者数837人	市民大学 講座開催数30回 延参加者数957人	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,558	2,455	2,447	2,510	2,533	
	直接経費 A	309	227	261	253	326	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	309	227	261	253	326
人件費 B	2,249	2,228	2,186	2,257	2,207		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	市民大学受講者の満足度	単位	%	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		実績			0	0	0	85	90				
	(指標の説明) 受講者アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした受講者の割合												
	2	目標		0	0	0	0	0					
		実績		0	0	0	0	0					
	(指標の説明)												
3	目標		0	0	0	0	0						
	実績		0	0	0	0	0						
(指標の説明)													



5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362</p> <p>【9次総の施策体系】2102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P253(教058)</p> <p>【事業の概要】 市内に在住、または勤務する成人を対象に、自由に学ぶことができる学習環境を整備するとともに、現代の社会的情勢・課題に対応した学習機会を充実するため、鳥取市民大学を開設する。</p> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山陰海岸ジオパーク講座 年5回(前期)</li> <li>・国際理解講座 年5回(前期)</li> <li>・市民健康講座 年5回(前期)</li> <li>・鳥取放送文化講座 年3回(後期)</li> <li>・社会講座 年6回(後期)</li> <li>・郷土の歴史講座 年6回(後期)</li> </ul> <p>参加者数(延)                      平成25年度              平成26年度              平成27年度</p> <p style="margin-left: 150px;">726人                      837人                      957人</p> <p>【今後の課題・方向性】 高齢者生きがい促進事業と重複しない内容・時間、または重層的な内容など他の事業と差別化を図りながら、より効果的の事業となるよう実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	市民大学受講者の満足度				106%	105%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>目的の妥当性</p> <p><small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	生涯学習推進の一環として、広く市民が学習できる機会を設けるという目的において妥当である。
<p>事業の有効性</p> <p><small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	幅広い年代の市民が郷土の歴史や社会問題等を自発的に学習する機会として、市が提供する事業であり有効である。
<p>資源投入の効率性</p> <p><small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	低コストで多様な学習機会が提供できており、参加者の満足度も高い水準を保っていることから、効率的な実施にされている。
<p>サービスの公平性</p> <p><small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	幅広い年代を参加対象としているが、実態は年代に偏りがみられるため、改善する必要がある。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	成人を対象とした社会教育事業として、個人の要望と社会の要請に合う事業を展開していくため、学習内容を検討していく。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000853	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	図書館情報管理システム処理事業		所属名	教育委員会事務局 中央図書館

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	図書館法、鳥取市立図書館の設置及び管理に関する条例
施策	2102	生涯学習の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数		153回	140回	運営方法	直営
	高徳大学及び鳥取市民大学の延参加者数		6,852人	8,500人	会計区分	一般会計
市民1人あたりの年間図書貸出冊数		4冊	5冊			
予算	予算事業名	図書館情報管理システム処理費			予算事業コード	01-09-04-09-06-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	図書館3館、中央公民館図書室6室及び市立病院図書室の利用者情報、所蔵資料に関する情報、予約・貸出状況等の管理
意図 (どのような状態にするために)	図書館利用者情報などを適正に管理することで、市民に迅速、正確、公平な図書館サービスを提供し、利便性・効率性・経済性の向上を図る。
手段 (どうするのか)	平成24年度に更新した図書館情報管理システムを適正に運用し、利用者情報、所蔵資料情報等の管理を行い、利用者自身がインターネットから本の予約、予約状況の確認、貸出の延長などを行えるようにするとともに、予約した本が正確・迅速に利用者に貸出せるようにする。また、中央図書館においては、本の自動貸出機、自動返却機の運用により、利用者の利便性の向上を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 H24年度11月の全面改修に向けて、システムの検証と構築を検討する。	平成24年度 新システムを導入して、利用の拡充拡大を図る。	平成25年度 新システムの効果的な運用により、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図る。	平成26年度 新システムの効果的な運用により、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図る。	平成27年度 システムの効果的な運用により、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図る。	
	年度別実績	H24年度2月の全面改修に向けて、システムの検証と構築を検討する。公募型プロポーザル方式により調達することとする。	公募型プロポーザル方式により新システムを構築し、経費を抑えながらより高機能のシステムに更新し、利便性の強化を図った。	新システムの効果的な運用により、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図った。	26年7月から市立病院図書室の図書館情報システムを当館のシステム内に構築し、より効果的な運用を行ったことで、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図った。	図書館3館、公民館図書室6室及び市立病院図書室を一体的に運用を行った。メンテナンスの範囲でバージョンアップを行い、利用者の利便性の向上を図った。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	12,509	13,607	31,732	32,551	32,642	
	直接経費 A	8,760	9,894	28,089	28,790	28,963	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	65	65
一般財源	8,760	9,894	28,089	28,725	28,898		
人件費 B	3,749	3,713	3,643	3,761	3,679		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	セルフ利用率の拡大	%	目標	0	0	40	42	46
				実績	0	0	45	45.4	41.8
	(指標の説明) 情報管理システム処理件数(貸出返却セルフ利用冊数/総貸出返却処理冊数)								
	2	個人貸出冊数	冊	目標	0	0	900000	910000	905000
				実績	0	0	899132	886471	889184
	(指標の説明) 図書館情報管理システムによる本の個人貸出冊数								
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中央図書館 0857-27-5182</p> <p>【9次総の施策体系】 2102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P269(教089)</p> <p>【事業の概要】 図書館3館、コミュニティセンター図書室6室、市立病院図書室を一体的に管理するため、図書館情報管理システムを運用した。これにより、図書館利用者情報などを適正に管理することで、市民等に迅速、正確、公平な図書館サービスを提供し、利便性・効率性・経済性の向上を図った。</p>																															
	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">【事業の成果】</td> <td style="width: 20%;">H27年度</td> <td style="width: 20%;">H26年度</td> <td style="width: 20%;">H25年度</td> </tr> <tr> <td>蔵書冊数</td> <td>640,534冊</td> <td>623,816冊</td> <td>614,625冊</td> </tr> <tr> <td>利用者登録数</td> <td>62,856人</td> <td>59,851人</td> <td>56,731人</td> </tr> <tr> <td>個人貸出</td> <td>889,184冊</td> <td>886,468冊</td> <td>899,132冊</td> </tr> <tr> <td>団体貸出</td> <td>99,067冊</td> <td>99,067冊</td> <td>123,080冊</td> </tr> <tr> <td>予約受付</td> <td>148,042件</td> <td>136,548件</td> <td>134,620件</td> </tr> <tr> <td>中央図書館入館者数</td> <td>394,674人</td> <td>404,819人</td> <td>426,459人</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>28,963千円</td> <td>28,790千円</td> <td>28,089千円</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 保守の範囲でバージョンアップを行い、一層の利便性の向上や効率化を図り、相談業務の時間を創出し、利用者とのコミュニケーションの充実を図る。</p> <p>※その他の財源の諸収入は、図書館情報システムサーバー等利用負担金(市立病院分)</p>	【事業の成果】	H27年度	H26年度	H25年度	蔵書冊数	640,534冊	623,816冊	614,625冊	利用者登録数	62,856人	59,851人	56,731人	個人貸出	889,184冊	886,468冊	899,132冊	団体貸出	99,067冊	99,067冊	123,080冊	予約受付	148,042件	136,548件	134,620件	中央図書館入館者数	394,674人	404,819人	426,459人	決算額	28,963千円	28,790千円
【事業の成果】	H27年度	H26年度	H25年度																													
蔵書冊数	640,534冊	623,816冊	614,625冊																													
利用者登録数	62,856人	59,851人	56,731人																													
個人貸出	889,184冊	886,468冊	899,132冊																													
団体貸出	99,067冊	99,067冊	123,080冊																													
予約受付	148,042件	136,548件	134,620件																													
中央図書館入館者数	394,674人	404,819人	426,459人																													
決算額	28,963千円	28,790千円	28,089千円																													

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	セルフ利用率の拡大			113%	108%	91%
	2	個人貸出冊数			100%	97%	97%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>目的の妥当性</p> <p><small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small></p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない</p>	図書館情報管理システムは多くの個人情報を取扱うとともに、地域図書館、各図書室との一体的な運用を行うことにより地域間格差を解消しているため。
<p>事業の有効性</p> <p><small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small></p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. やや有効である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 有効でない</p>	図書館情報システムは図書館の管理運営に欠かせないものであり、資料管理、利用者管理等大いに効率化が図られているため。
<p>資源投入の効率性</p> <p><small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small></p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. やや効率的である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない</p>	資料の登録管理、利用者情報の管理、貸出等の利用管理などにおいて大いに効率化が図られており、費用対効果は高い。また、保守料の範囲でバージョンアップを行う契約であり、常に改善しながら最新の環境で運用できている。
<p>サービスの公平性</p> <p><small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small></p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. やや公平である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 公平ではない</p>	図書館情報管理システムと併せて搬送網の構築により、市内のどの図書館、図書室からでも同様のサービスを受けることができ、地域間格差の解消につながっているため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<p><input type="checkbox"/> 1. 拡充</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 現状維持</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了</p>	<p><input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充</p> <p><input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善</p> <p><input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化</p> <p><input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合</p>	<p><input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少</p> <p><input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止</p> <p><input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了</p>
	<p>担当課長の評価コメント</p>	<p>図書館情報管理システムは常に進化しており、利用者にも職員にも利便性が高い。保守の範囲でバージョンアップを行い、一層の利便性の向上や効率化を図り、相談業務の時間を創出し、利用者とのコミュニケーションの充実を図る。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000852	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	地域社会教育活動総合事業		所属名	教育委員会事務局 中央図書館

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと人が輝くまちづくり		事業期間	平成23年度～全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	図書館法、鳥取市立図書館の設置及び管理に関する条例
施策	2102	生涯学習の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数		153回	140回	運営方法	直営
	高徳大学及び鳥取市民大学の延参加者数		6,852人	8,500人	会計区分	一般会計
市民1人あたりの年間図書貸出冊数		4冊	5冊			
予算	予算事業名	地域社会教育活動総合事業費			予算事業コード	01-09-04-09-05-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	子どもから大人までの市民等及び読み聞かせ等のボランティア
意図 (どのような状態にするために)	市民等が本に親しむ機会を得ることにより、幼い時期から読書の習慣を身につけ、自ら考え、行動するために、必要な知識や情報を得て、自己実現を図るとともに、生涯にわたって心豊かな暮らしを送るため。また、地域文化の発展に寄与するため。
手段 (どうするのか)	子どもの読書活動を推進するため、ブックスタート事業の協力、「おはなし会」等の事業の実施をすることで、絵本の読み聞かせ等ボランティア養成講座の実施。 また、一般向け講座の実施。事業の展開にあたっては、広報媒体を活用して積極的な周知を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 お話し会等を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。	平成24年度 お話し会等を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。	平成25年度 お話し会や各種講座を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。高齢者向けの講座「音読教室」を新たに実施するとともに中学生向けのブックリスト作成と公開を行う。	平成26年度 お話し会や各種講座を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。高齢者向けの講座「音読教室」を実施するとともに、中学生向けのブックリスト作成と公開を行う。	平成27年度 お話し会や各種講座を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。高齢者向けの講座「音読教室」を実施するとともに、読書通帳を活用して読書の推進を図る。	
	年度別実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>おはなし会</li> <li>読み聞かせボランティア養成講座</li> <li>ブックスタート支援</li> <li>講座、講演会</li> <li>本のリサイクル市</li> <li>視聴覚支援資料整備</li> <li>ボランティアの受入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おはなし会</li> <li>読み聞かせボランティア養成講座</li> <li>ブックスタート支援</li> <li>講座、講演会</li> <li>本のリサイクル市</li> <li>視聴覚支援資料整備</li> <li>ボランティアの受入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おはなし会</li> <li>読み聞かせボランティア養成講座</li> <li>ブックスタート支援</li> <li>その他講座、講演会</li> <li>本のリサイクル市</li> <li>ボランティアの受入などを通じて読書活動の推進を図った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おはなし会・読み聞かせボランティア養成講座・ブックスタート支援・その他講座、講演会・読書通帳の配布</li> <li>本のリサイクル市・ボランティアの受入などを通じて読書活動の推進を図った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おはなし会・読み聞かせボランティア養成講座・ブックスタート支援・その他講座、講演会・読書通帳の配布</li> <li>本のリサイクル市・ボランティアの受入などを通じて読書活動の推進を図った</li> </ul>	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	21,134	22,150	21,199	21,430	21,760	
	直接経費 A	1,013	1,595	839	830	1,274	
	直接経費の内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,013	1,595	839	830	1,274		
人件費 B	20,121	20,555	20,360	20,600	20,486		
職員数の内訳	正規職員	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
	嘱託職員	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		おはなし会、各種講座への参加者数	人	目標	0	0	4500	4550	4800
	(指標の説明) おはなし会、読み聞かせボランティア養成講座等への参加者数	実績	0	0	4866	4780	4958		
2	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率	%	目標	0	0	50	69	80	
(指標の説明) 受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率(実施予定含む)	実績	0	0	68	89.7	64.5			
3	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0	
実績	0	0	0	0	0				

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中央図書館 0857-27-5182</p> <p>【9次総の施策体系】 2102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P268(教088)</p> <p>【事業の概要】 読書活動の推進のため、さまざまな事業を実施 (1) 各図書館で毎週定期的に「おはなし会」の実施 (2) 読書ボランティア養成講座の実施 (3) 文字・活字文化の日記念講演会の開催 (4) 読書通帳を活用した読書の推進など</p> <p>【事業の成果】 (1) 読書ボランティア養成講座の開催により、講座に7割以上参加した人のうち、6割以上の人の実践につなげることができた。 (2) 今年度新たに「福〴〵(BOOK)袋から広がるあなたの世界」や小学生を対象にした図書館探検&amp;司書体験を実施し、図書館の利用促進を図るとともに、司書が本をおすすめすることで本の利用につながった。190袋(約500冊)準備し、全て貸出された。 (3) 「この本いいで!とっどりの小中学生おすすめ1冊」を募集し、小中学生の読書意欲の高揚を図った。(2,328人の応募) 平成25年度 839千円 平成26年度 830千円 平成27年度 1,274千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 幼いころから読書習慣を身につけるとともに、図書館を利用しない市民をいかに引き付け、読書活動へとつなげていくかが課題。事業の効果を検証し、市民ニーズを取り入れながら必要な事業を企画していく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	おはなし会、各種講座への参加者数			108%	105%	103%
	2	受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率			136%	130%	130%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	生涯学習施設として、子どもの読書活動の推進を図るとともに、幼児から高齢者まで知識や教養を習得し、もって地域文化の発展に寄与する使命があるため。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	事業の実績として目標の参加人数を上回っているとともに、読書ボランティア研修講座の受講生が実践に結びついているため。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	現代的な課題も考慮しながら各種講座、講演会などを開催しており、地元の人材(ボランティア)を活用するなどしているため。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	図書館3館が地域性を出しながら、各種講座、おはなし会等を実施している。幼児から高齢者まで幅広い世代を対象とした事業を展開しており、広報についても市報をはじめケーブルテレビなども活用し、広く周知するよう取り組んでいる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	図書館を最大限活用していただくため、様々なテーマで学習する機会を提供するとともに、読書活動につながる事業を企画する必要がある。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000854	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	図書購入事業		所属名	教育委員会事務局 中央図書館

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	図書館法、鳥取市立図書館の設置及び管理に関する条例
	施策	2102	生涯学習の推進			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数		153回	140回	運営方法	直営
	尚徳大学及び鳥取市民大学の延参加者数		6,852人	8,500人	会計区分	一般会計
	市民1人あたりの年間図書貸出冊数		4冊	5冊		
予算	予算事業名	図書購入費		予算事業コード	01-09-04-09-08-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民の利用に供するための図書館の蔵書
意図 (どのような状態にするために)	市民等が自らが生涯にわたって学び、自己実現を図るとともに、さまざまな課題についても自ら判断できるよう、さまざまな知識や情報を身近な拠点で容易に入手できるようにする。
手段 (どうするのか)	一般図書・児童図書・参考図書・郷土資料及び新聞・雑誌等の定期刊行物を購入し、整備する。選書にあたっては、資料収集方針により図書館3館と中央公民館図書室6室でバランスのとれた蔵書構成を図り、限られた財源を有効に活用する。また、市民のリクエストや現代的な課題に関する資料の充実に努める。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入する。	一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入する。	一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入するとともに、貸出用の新規整備図書の利用状況を把握し、ニーズや効果を検証する。	一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入するとともに、貸出用の新規整備図書の利用状況を把握し、ニーズや効果を検証する。	一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入するとともに、貸出用の新規整備図書の利用状況を把握し、ニーズや効果を検証する。	
	年度別実績	一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入する。 21,587冊購入	一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入する	一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入するとともに、貸出用の新規整備図書の利用状況を把握し、ニーズや効果を検証した。	一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入するとともに、貸出用の新規整備図書の利用状況を把握した。	一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入するとともに、貸出用の新規整備図書の利用状況を把握した。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	40,846	41,489	39,508	39,785	38,377	
	直接経費 A	38,597	39,261	37,322	37,528	36,170	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	38,597	39,261	37,322	37,528	36,170	
人件費 B	2,249	2,228	2,186	2,257	2,207		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	新規購入図書年間貸出回数	回	目標	0	0	5	5.1	9
				実績	0	0	9.6	9.27	9.68
	(指標の説明) 新規購入図書貸出回数(年度内新規購入図書貸出累計÷新規購入図書冊数×2)								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中央図書館 0857-27-5182</p> <p>【9次総の施策体系】 2102</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、資料の収集、整理保存を行う。 具体的には、一般書、児童書などの図書、視聴覚資料、雑誌の購入を行う。</p> <p>【事業の成果】 平成25年度：37,322千円 20,732冊購入(冊数に雑誌は含まない) 平成26年度：37,586千円 20,832冊購入(〃) 平成27年度：36,170千円 19,362冊購入(〃)</p> <p>(1) ニーズや社会情勢をとらえながら選書したことにより、新規購入冊数の貸出回数が目標を大きく上回った。 (2) 雑誌スポンサーの件数(10者、22誌、190,270円)が増えたことにより、雑誌の充実を図った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 (1) 社会情勢をとらえながら多様な考え方や新しい情報を豊富に整備する。 (2) 県立図書館や他の自治体の図書館との連携を図るとともに、電子情報や電子書籍の活用の検討。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	新規購入図書年間貸出回数			192%	182%	108%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民等が自らが生涯にわたって学び、自己実現を図るとともに、さまざまな課題についても自ら判断できるようにするためには、さまざまな知識や情報を身近な拠点で容易に入手できることが必要。誰もが無料で利用できる公立図書館の資料整備は重要。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	新規購入した資料の年間利用回数は9.68回転と昨年度の数値を0.44ポイント上回っていることから、利用者のニーズをとらえた選書になっている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	図書館情報システムにより、各館の所蔵状況や発注状況を確認しながら購入している。所蔵していない資料にリクエストがあった場合は、即購入するのではなく県立図書館や他自治体の図書館との相互貸借を行って資料の提供に努めている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	図書館3館、中央公民館図書室6室、市立病院図書室及び移動図書館車5台を中心に学校図書館とも連携を図りながら広範囲にサービス展開している。また、土日や祝日会館に努め、多くの市民が公平に利用できるような運営に努めている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	社会情勢をとらえながら、新しい考え方や情報を豊富に整備する。 県立図書館や他自治体の図書館との連携を図るとともに、電子情報や電子書籍の活用を検討する必要がある。 雑誌スポンサー制度の利用を促進し、雑誌購入予算を図書購入予算に振り替え、蔵書を充実させていく。	